

## はじめに

英語の音声によるコミュニケーションをスムーズに行うためには、何をどのように学習すれば良いのでしょうか。この疑問は英語を学習している多くの日本人にとって共通の悩みであると言えるでしょう。主として文字を中心とした英語学習法では、いくらやっても英語を聞いたり話したりする能力が思うように伸びないのはなぜでしょうか。自然に話された英語を聞き、適切に応答するためには、書き言葉としての英語を理解する能力だけでなく、音声に関する色々な能力を総合的にしかも瞬時に働かせることが必要です。そのためには、話し言葉としての語彙と文法構造や話題に関する背景知識をベースにして、英語の音声に関する基礎的な知識の学習と、実践的なリスニングおよび発音訓練が特に重要なのです。

日本では今、「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」に基づく行動計画が多様な形で実践に移され、特に音声によるコミュニケーション能力の養成が高いレベルで求められています。私達はそのための基礎的な知識とスキルを養成するための教材として、このテキストを開発しました。

この教材では、英語音声の基本的な説明と発音訓練を取り入れています。その理由は、聞き取ることと発音することとはお互いに密接な関係があると考えているからです。つまり、ある音と音との違いを区別して発音できたり、ある意味のまとまりを表す語群を1つの音の固まりとして発音することができれば、それらの音が発音された場合に正確に聞き取ることができるからです。また文字を見れば簡単な表現でも音声を聞いただけでは全く見当がつかない場合がよくありますが、書き言葉には現れない英語音声の特徴を学習し、発音と聞き取りの両方を練習することにより、文字を見なくても容易に聞き取りができるようになります。

### テキストの構成と学習法

このテキストは15のユニットで構成されています。各ユニットの最初の2頁では、英語の音声に関する基本的な特徴が例と共に解説されていますので、日本語の音声の特徴と比較しながら「英語音声の基礎チェック」をしてください。音声に関する専門用語はできるだけ使わず、わかりやすいように解説しています。また、気軽な読みものの風コラムを設けているユニットもあります。

次に各ユニットの学習項目を重点的に練習するために *Listening Practice* があります。リスニング練習を行った後、モデルに続いて何度も発音練習をしてください。発音練習ではしっかりした声を出すことが大切です。対話形式の問題では相手を見つけて一緒に練習すれば、一層学習効果が上がるでしょう。問題文はできるだけ日常生活に密着した身近な話題をはじめ、現代社会や世界の諸問題に関する英文を選びましたので、覚えておけば英語で話したり書いたりする際に大いに助けになるでしょう。

ユニットの最後には *Let's Challenge!* が用意されています。問題は写真や絵の描写を聞き取る TOEIC のテスト形式や、図表やデータに関するタスク形式、対話の応答文を選ぶもの、ある程度の長さのある対話やパッセージを聞いて内容理解度をチェックするものなど、多種多様な問題が用意されています。各ユニットで学習した知識とスキルを十分に発揮して、これらの問題にチャレンジし、実力を試してください。

ユニット 11 から後には、リスニングや発音の発展学習として、より具体的な解説と練習問題を集め、最後に「発音とリスニング上達への道」をまとめとしてこのテキストを完了しています。このテキストを学習することによって、実際のコミュニケーションに役立つ知識やスキルが一層高まることを信じて、皆さんが意欲的に学習されることを著者一同期待しています。

2005 年 1 月 著者一同

# CONTENTS

英語発音のまとめ	6
UNIT 1 ストレスとリズム (1)	8
UNIT 2 ストレスとリズム (2)	12
UNIT 3 母音の発音	16
UNIT 4 子音の発音	20
UNIT 5 音節と子音連結	24
UNIT 6 音声変化 (1)	28
UNIT 7 音声変化 (2)	32
UNIT 8 短縮形	36
UNIT 9 英語のイントネーション (1)	40
UNIT 10 英語のイントネーション (2)	44
UNIT 11 アメリカ英語とイギリス英語	48
UNIT 12 外来語・固有名詞・数詞の発音と聞き取り	52
UNIT 13 話し言葉のスタイル (1)	56
UNIT 14 話し言葉のスタイル (2)	60
UNIT 15 発音とリスニング上達への道	64

## 付属CDについて

巻末に付属している自習用CDには、「英語発音のまとめ」、各ユニットの「英語音声の基礎チェック (トラックNo.表示のある箇所)」と *Listening Practice* が収録されています (*Let's Challenge!* の問題は教室用CDに収録)。

自習用CDのトラックNo.表示はCD A ○○

教室用CDのトラックNo.表示はCD B ○○ となっております。

## 1. アクセント・ストレス・リズム

CD A4

「アクセントを置く」とは、話しことばのある部分を他の部分より「際立たせる」ことです。英語と日本語では「際立たせる方法」が異なります。

英語のアクセント：声の強弱の違いによって表す「強勢アクセント」

例 reCORD (記録する — 動詞) REcord (記録・記録的な — 名詞・形容詞)

日本語のアクセント：声の高低の違いによって表す「高低アクセント」

例 ハシ (箸 — chopstick) ハシ (橋 — bridge)

「ストレスを置く」とは、ある部分を他の部分より「強く」発音することです。英語では、「ストレスを置く」とは「アクセントを置く」ことと同じになります。

単音節語のストレス：単語の中に母音が1つだけある語（単音節語）は、その母音の上にストレスが置かれ、その母音が強く長めに、声もやや高めに発音されます。

例 pen book skill make black weight

多音節語のストレス：単語の中に母音が2カ所以上ある語（多音節語）は、最も強いストレス（第一強勢）[´]のほかに、2番目に強いストレス（第二強勢）[˘]が置かれる語もあります。また、何もストレスが置かれない音節は、「弱音節」と呼ばれ、その中の母音は弱く短く発音されるので、聞き取れない場合がよくあります。

例 balance (bál-ance) technique (tech-níque) volunteer (vòl-un-téer) vanilla (va-níl-la) everybody (éve-ry-bòd-y) international (ìn-ter-ná-tion-al)

「リズム」とは、音や動きが規則的・周期的に繰り返されることを言います。英語の句や文では、強いストレスを置いて発音する部分（強音節）がほぼ同じ間隔で、拍子を取るように現われるのが特徴です。

## 2. 英語のリズムと日本語のリズム

CD A5

英語のリズム

英文のリズムの担い手は強音節です。弱音節は弱く短くあいまいに発音されるため、弱音節が文中にいくらあってもその数に関係なくほぼ一定のリズムが保たれます。

例 1. Father drinks coffee. (3語)

● ● ●

2. My father is drinking his coffee. (6語)

● ● ●

上の2つの文は、同じリズムで読まれます。例文2は例文1の2倍の語数ですが、強音節（●印）の数は例文1と同じ3個です。

## 日本語のリズム

日本語では、英語のような強音節や弱音節の区別をせず、それぞれの音節がほぼ同じ強さと長さで繰り返されるので、英語に比べてやや平板に聞こえます。

例1. な つ が す き。 (5音節)

□ □ □ □ □

2. わ た し は な つ が す き で す。 (11音節)

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

日本語では音節数が増えると、それに比例して発話に要する時間も増えます。

## 3. 「複合名詞」と「形容詞的な修飾語+名詞」の強勢パターン

CD A6

2つ以上の単語が密接に結合している句の場合、ストレスが置かれる位置のパターンは次の2つに大別されます。

複合名詞 <強弱パターン ˊ ˋ >

2つ以上の語が結合して全体でひとまとまりの名詞として働くものを「複合名詞」と言います。この場合は、最初の単語に第一強勢が置かれ、特別の意味を表します。

例 WHITE House (ホワイトハウス)

ENGLISH teacher (英語の先生)

BLUEbell (ヒヤシンス)

GREENhouse (温室)

FLASHlight (懐中電灯)

ROCKING chair (ゆり椅子)

形容詞的な修飾語+名詞 <弱強パターン ˋ ˊ >

最初の語は形容詞的な働きをするだけで、後の名詞に中心的な意味があるので、修飾される名詞の上に第一強勢が置かれます。

例 white HOUSE (白い家)

English TEACHER (英国人の先生)

rocking CHAIR (揺れている椅子)

green HOUSE (みどりに塗った家)

blue BELL (青色の鈴)

running HORSE (走っている馬)

## 通じないカタカナことば 見直そう、ストレスの置き方

日常生活に密着した「カタカナことば」はそのままでは英語として通じません。「カタカナことば」のものの英語のストレスを見直してみましょう。

カタカナことばのストレス	ものの英語	ストレスを置く音節
エレベーター	elevator	el-e-va-tor
パーセント	percent	per-cent
テクニック	technique	tech-nique

- 1 次の文中の下線部について、例にならって最も強く発音されると思われる音節に第一強勢の印（´）を付け、次にCDを聴いて確認しながら全文を音読しなさい。

例 He'll break the world récord for the 100-meter race.

Japan imports many kinds of foods.

I'm going to apply for the next speech contest.

I have no idea what the major export of Japan is.

I must say I strongly object to your suggestion.

You'd better record your progress every day.

Nowadays we use whiteboards instead of blackboards.

To preserve our green earth, we must cut down the greenhouse effect.

Our English teacher comes from Australia.

Dinner will be served in the dining room.

Someone's still in the burning house. We must rescue them first, and then your precious strongbox.

- 2 CDを聴いて、次の対話のBのパートで話された言葉を書き取りなさい。そのあとでストレスとリズムに注意しながら、各対話を口頭でリピートしなさい。

A: What bad luck that we have this blackout in the middle of dinner!

B: \_\_\_\_\_

A: Can you make the club meeting tomorrow?

B: \_\_\_\_\_

A: I'm a poor speaker. I can't keep eye contact with my audience.

B: \_\_\_\_\_

A: Can you see a flashing light in the dark?

B: \_\_\_\_\_

**Let's Challenge!**

1 CDを聴いて、写真の描写として最も適切なものを1つ選びなさい。



(A) (B) (C) (D)



(A) (B) (C) (D)

2 CDを聴いて、質問の答えとして最も適切なものを1つ選びなさい。

What does the woman suggest?

- (A) That the man see a dentist.
- (B) That the man pull out his bad teeth.
- (C) That the man have the wisdom to brush his teeth.
- (D) That she go to the dentist's with him.

What will they probably do?

- (A) They will go to a sandwich bar for lunch.
- (B) They will warm up in the park before eating lunch.
- (C) They will drop in at a bread shop on their way to the park.
- (D) They will take a walk in the park after eating lunch.

3 CDを聴いて、質問の答えとして最も適切なものを1つ選びなさい。

What has happened at Paddington Station?

- (A) Trains arriving at the station are delayed by the fog.
- (B) Passengers are required to wait in the train until their departure.
- (C) The station guards have sent out the word about the thick fog.
- (D) All the trains leaving the station are greatly behind the schedule.

How long will the passengers probably have to wait after the announcement?

- (A) Wait an hour before they get on board the train.
- (B) Wait two hours before they get on board the train.
- (C) Wait an hour before their trains depart.
- (D) Wait two hours before their trains depart.